

安全と環境を考えるニシオの広報誌

1998 Vol-2

安全くん

32

ひとごと
「他人事ではない KYシート」の巻



インターネットホームページ『安全くんネット』も
御覧ください。

<http://www.nishio-rent.co.jp/anzenkun/>

〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

それ行け!!

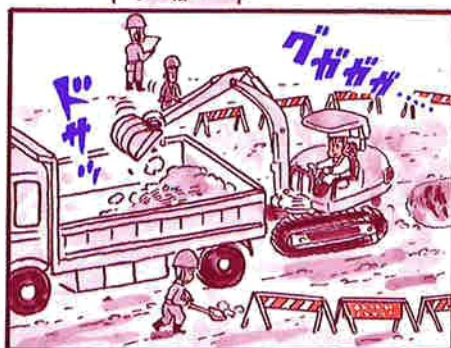
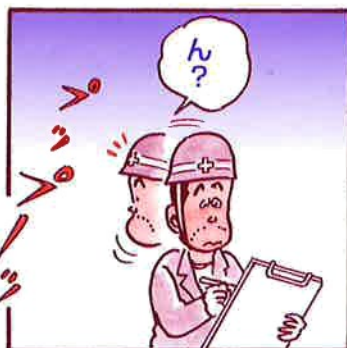
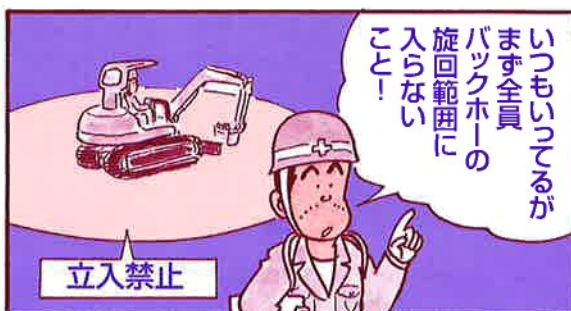
画 中村よしのぶ

安全くん

連載 その32

ひとこと
「他人事ではない KYシート」の巻





解説コーナー KYT (危険予知訓練) と KYK (危険予知活動)

KYT (危険予知訓練) と KYK (危険予知活動) を同じものとして取り組んでいる企業や建設現場もあるようですが、厳密にいうと、KYT (危険予知訓練) は、現場でのKYのために準備として事前に行うもので、KYK (危険予知活動) は、現場でその日の作業開始前に行うものとして区別できます。この機会に混同しやすいふたつのKYについて、考えてみましょう。

●KYT (危険予知訓練) とは

イラストによって作業に関係する危険箇所や危険行動の直接原因を視覚的に見つけ、その対策を考えます。これは現場でKYがスムーズに行えるよう、事前に訓練するものです。こうした直接原因もさることながら、例えば、出勤前の妻との口論など、間接的な要因によっても、足場を短絡して墮落するなどの災害が発生したケースがあります。そこで、KYT (危険予知訓練) では、さまざまな事故事例から学ぶことが重要だといえます。

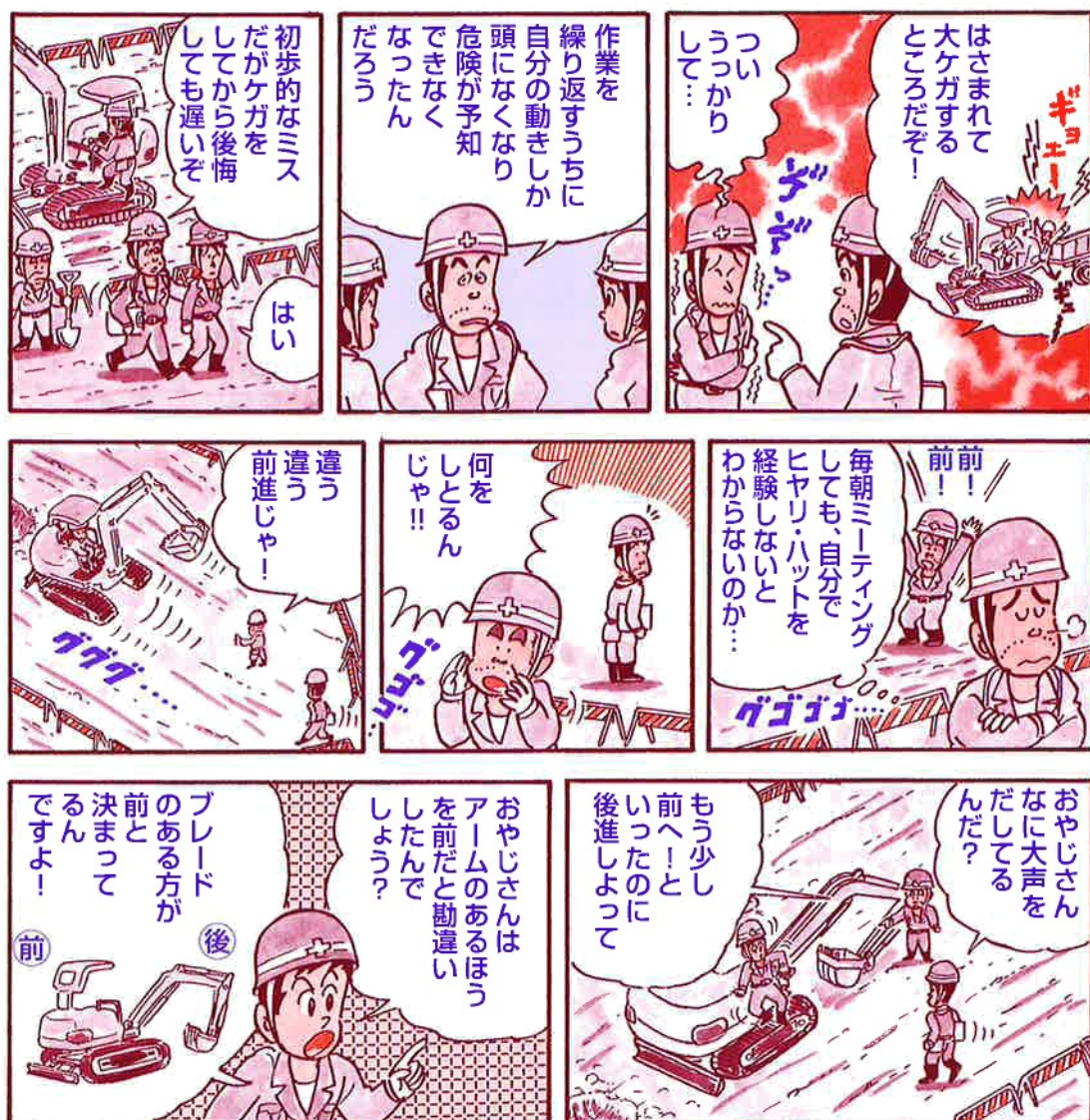
●KYK (危険予知活動) とは

作業開始前にその対策について経験と想像力を働かせ、起こる可能性のある災害を想定し、その防止対策を立てることによって災害を未然に防止する手法です。実際の作業開始前に行い、その日の作業内容や現場の状況にそって考えていくため、不安全状態や不安全行動に対する対策が現実的でわかりやすく、作業員の危険に対する感受性を高める効果があります。さらに以下の項目を加えることにより、一層の成果が期待できます。

1. 些細なヒヤリハットの体験も活かす。
2. 災害事例を常に自分の職場に取り入れる。
3. 重機・機械・電動工具の機能をよく理解し、取り扱いミスの危険性を知る。

(出典：建設工事の安全を願って、木下貴蔵著、大阪労働基準局安全課監修)





解説コーナー KYK (危険予知活動) のマンネリ化防止対策はこれだ!!

KYKの現状と問題点についてある調査結果

KYKを	実行している。	うまくいっている。
建築	98%	48%
土木	95%	65%

実行していない理由

「忙しく時間がない」
「作業員の入れ替わりが多い」

活性化のための方法。

「朝会で作業内容や安全指示をよく理解させる」
「全員に発言させる」
「チームワークの向上」
「ヒヤリハットや災害事例を取り入れる」
「テーマを細分化して毎日変える」

うまくいかない理由

「メンバーが発言しない」
「マンネリ化している」
「報告書を書くのが苦手」

元請けへの要望として

「現場担当社員が関心をもってKYKに立ち会い、指導を」などがあり、こうした結果からは、現場のKYKにおいてマンネリ化が強くなっている傾向がうかがえます。

マンネリ化防止対策例

1. グループリーダーをときどき交替
2. 多くのメンバーに発言を
3. テーマを細かく分け、リストを作成
4. イラストやビデオを利用して関心を高める
5. 熱心なグループやスローガン入賞作品を表彰
6. 他現場、他社のKYK状況の情報提供
7. 災害事例、安全用品、安全機材器具の紹介、パンフレット配布など
8. 短時間での確に、かつ効果のある取り組み方法を工夫

(出典：建設工事の安全を願って、木下賞蔵著、大阪労働基準局安全課監修)

ガンさんのワンポイントレッスン

災害防止に効果的! KYシートを使い、4ラウンドでKYKを進めよう!!

危険予知活動 (KYK) にとって最も重要なことは、危険の所在と防止対策を作業者全員が考え、発言し合うことです。そのために有効な方法がKYシートを使用して以下の4ラウンド方式で行うミーティング。この4段階を経ることで、潜在する危険を浮かび上げ、対策を講じていくことができるのです。



第1ラウンド (現実把握) …どんな危険がひそんでいるか

KYシートを見て、「〇〇して(〇〇なので)〜になる」と危険の要因、それによって起こる現象を各自が想定し、どんどんあげていく。

第2ラウンド (本質追究) …これが危険のポイントだ

第1で出された危険のうち、関心が高く、重大事故につながり、緊急を要するもの2〜3項目について◎(最重要)、○(重要)など印をつける。

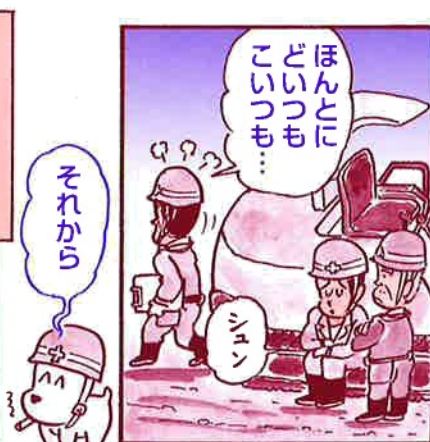
第3ラウンド (対策樹立) …あなたならどうする

第2で絞り込んだ危険について、チームとしてこうすべきだという対策、しかも具体的で実施可能なものを全員が出していく。

第4ラウンド (目標設定) …私たちはこうする

第3で出された対策のうち、チームとしてすぐ実施する必要があるもの(重点実施項目)を全員の合意で1〜2項目選び、それについて「チーム行動目標」を決める。さらに現場で必ず確認する「ワンポイント指差呼称」をひとつ決め、「〇〇ヨシ」など指差し唱和する。

(出典:職長教育マニュアル、労働基準調査会 編著)



貸 RENT
します

NISHIOのクランプ 吊り荷作業の安全に、お役立てください。

使用目的、条件に準じた豊富な商品陣容。

■コンクリート製品吊り専用クランプ



●間知ブロックマテ吊り
吊上荷重: 500kg



●コンクリート製品クランプ
吊上荷重: 500kg

■鉄骨/鉄板吊り専用クランプ



●吊上荷重: 0.5〜5tまで



鉄骨等の重量資材の、
縦吊り、横吊り各種
対応致します。

■異形鉄鋼・丸棒吊り
専用クランプ



●吊上荷重: 1.5t

鉄筋構造物の
吊り上げ
作業に。

お問い合わせは最寄りの各営業所まで



KYシート



解説コーナー KYの自問カード(チェックKYカード)

実際に、現場でその日の作業内容を聞いて即座に危険予知ができるまでには経験が必要になってくるものですが、どんな事が発生するか、危険がありそうなシーンはどんな時かを考える材料として『自問カード』があります。これは、わが国の全産業のケガや死亡事故の多いものを取り上げたもので、事故の結果「どうなる」というのを、10の類型に分けたものです。

- ①はさまれる ②巻き込まれる ③切る ④当たる ⑤ころぶ
⑥落ちる・落とす ⑦くずれる ⑧やけどする ⑨感電する ⑩その他

この10の項目を書いたカードを配り、現場やKYシートを見ながら考えていくと、「～なので～になる。～して～する。」というように、結構いろいろなケースが浮かんでくるものです。「～して」という部分、つまり事故の発生のシーンから考えるのではなく、「はさまれるとしたらどんな状況だろうか?」「落ちるとしたらどこでだろうか?」と現場を見ていけば危険な箇所や作業が短時間で想定できるはずです。

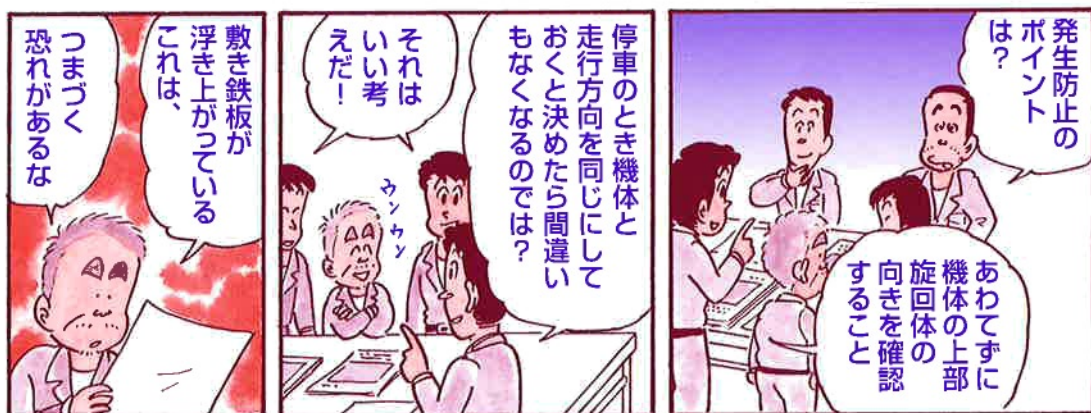
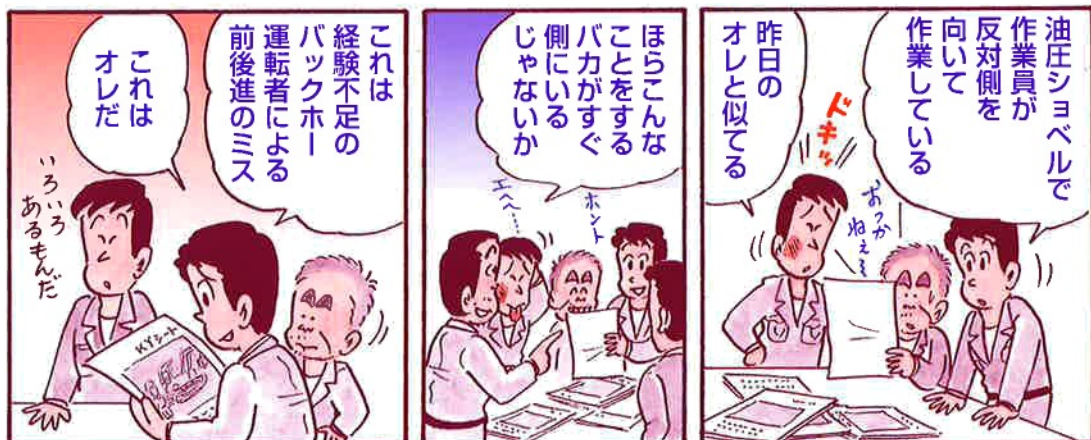
現場では、単独作業も多いようですが、自分一人で安全確認や危険の排除を繰り返しながら進めていかねばなりません。その際にも、このカードを使って危険予知を行うことで、落ち着いた作業にかかれるのではないでしょうか。

(参考出典:事故や災害の防止に役立てる職場で活かす危険予知)

チェックKYカード

2月15日 リーダー:花田

作業名:壁塗装 安全の常識:安全帯使用		
No.	どうして	どうなる
1		はさまれる
2		巻き込まれる
3		切る
4		当たる
5		ころぶ
6	足が滑って 踏み外して	落ちる・落とす
7		感電する
8		くずれる
9		やけどする
10		感電する
		その他



貸 します NISHIOの工事現場保安用品
工事現場の安全確保に。

■昼夜問わずよく見えるLED標示板

■現場の交通整理に工事用自動信号機

お問い合わせは、最寄りの各営業所まで

貸 します NISHIOの小旋回式バックホーシリーズ
後を気にせず、狭所作業をより安全に。

■小旋回式バックホー PC128UU

●0.08～0.45㎡
まで各種あります。

■後方小旋回式バックホー Vio20

●0.05～0.28㎡
まで各種あります。

お問い合わせは、最寄りの各営業所まで

